

2010年5月11日

5月15日、午後6時30分から、「アジアから基地をなくそう！国際連帯集会」を開催します。場所は、宜野湾市民会館（市役所隣）で、資料代千円です。アジアの隣人たちの話を直接聞き、また音楽や踊りも楽しもうという場です。گرام、韓国、フィリピンからの代表が参加し、沖縄からは、伊波洋一宜野湾市長、糸数慶子参議院議員のほか、辺野古や高江からも代表が参加します。

普天間問題がどうなるのか、今が大きな岐路です。本当に、沖縄に恒久的な、巨大新基地が必要なのか。海兵隊が駐留し続けるのは、何のためなのか。私たちの基地問題と直接つながる地域からの皆さんと、市民の交流を広め、深めていくことは、基地・軍事力に

アジアから基地をなくそう！国際連帯集会

沖縄を平和交流の中心に



よらない安全保障を求める上で、大きな意味を持ちます。

軍事対立の最前線に置き続けられることになれば、沖縄の将来はアジア諸国に対して閉ざされたものになります。

本当にそれが沖縄にとり、望ましいことなのか。外はすべて敵という考え方には、未来がありません。

沖縄を軍事拠点から、平和交流の中心にするために、何が必要なのか、一緒に考えませんか？ 翌16日には、普天間包囲行動があります。普天間を取り返し、沖縄をアジアとの交流拠点にできる、大きな機会です。この集会と包囲行動で、それを確かめましょう。

連絡先・平和をつくる琉球弧活動センター ☎098(867)4040。

(佐藤学・教員・宜野湾市、52歳)